

清流

西粟倉中学校だより

令和7年7月15日(火) 発行



15の春の自立を地域とともに目指す活力のある学校

(学校教育目標)

未来を拓き たくましく生きる力の育成 ～ 自律 協働 挑戦 ～

(校長雑感)

先日の朝、歩道の草抜きをしながらあいさつ運動をしていると、地域の方から「これを使ってください」と除草剤を差し出していただきました。地域の方のご厚意で成り立っている学校だと改めて実感するとともに、この関係を大切にしていきたいと思いました。

今回は私の草抜きについて少し、。実は、大阪、愛知と街中で育った私の家庭では、子ども(自分)の手伝いは、家の前の道路の掃き掃除と庭の草抜きでした。いわゆるベッドタウンで家が立ち並ぶ中なので、庭木の落ち葉についても、苦情とまでは行かなくとも嫌な顔をされる原因となります。落ち葉のシーズンは毎日落ち葉の掃き掃除をしていました。(と言っても家の前の数メートルですが。)そして、冬以外のシーズンは庭の草抜きです。子供のころはよく「葉っぱだけ切らずに根っこから抜く」としかられたものです。このようにして育ったせいか、落ち葉掃きや草抜きは比較的苦になりません。(ありがたいことですよね。)そういえば、最近実家に帰って周りを見てみると、新しい家では花壇はつくっても庭はつくらず、木を植えない家が増えています。剪定も含め、手入れが大変という理由からだそうです。

ある学校に転勤した時のことです。学校の周りに草があんまり生えていると見苦しいから定期的に草刈りをすると聞きました。生まれて初めての草刈り機の使用です。緊張しながらエンジンをかけ、いざ草刈りに。多少の凸凹がありながら、なんとかできました。刈る面積が広いと大変ですよね。(小さな庭とは違います。)

別の学校では、歩道の縁石の近くに生えている草の背丈が伸び、1m近くになっていました。そのため、歩道を圧迫し少し通りにくい状態でした。ただ、普段は車で車道を通るのでそれについて全く意識できていませんでした。ふとしたことで、歩道を通り気づいたことをきっかけに歩道の草抜きを始めました。車通りも結構ある道だったので、縁石の外側の草抜きは少し危険です。ただ、抜き出して、1か月もすると、落ち着いてきます。散歩される地域の方からも感謝の言葉を頂き、励みにしながら草抜きを続けました。

今回、転勤してきて、あいさつ運動をしていると、やはり縁石に目が行きました。そこまで伸びてはいませんが、草が、、、。草抜き生活の始まりです。草を抜くと、道路が明らかにきれいになります。「手が入っているところです!」と示すことで防犯にも役立つのでは?と勝手に思いながら、今では草抜きを趣味みたいなものと自覚し始めました。

今年度より右ページの「学校の様子」はHPで代替しています。6月は19件の記事がHPに上がっています。HPを是非ご覧ください。

西粟倉中学校



(もしくは下記)

<https://www.vill.nishiwakura.okayama.jp/wp/nishiwakurachugakko/>